

熱海市に6100万円
R2620地区届ける
 静岡、山梨両県のロータリークラブ(RC)でつくる国際ロータリー第2620地区は20日、大規模土石流に見舞われた熱海市に全国

のRCから寄せられた支援金6100万円を届けた。小林聡一郎ガバナー(甲府北)、志田洪顯(山梨)、田中浩一(静岡)らが市役所を訪れ、斉藤栄市長に目録を手渡した。

熱海市に6100万円の支援金
 国際ロータリー第2620地区

山梨、静岡両県のロータリークラブでつくる国際ロータリー第2620地区(小林聡一郎ガバナー)は20日、静岡県熱海市で7月に発生した大規模土石流災害を受け、国内の国際ロータリー全地区から集めた支援金6100万円を同市に贈った。

国際ロータリー第2620地区は災害発生直後に災害支援本部を設け、全地区に支援金を募った。各地区やクラブ、関連組織から浄財が寄せられ、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会を通して台湾米山学友会からも支援金が届いた。

同日は小林ガバナーら災害支援本部のメンバーと、熱海市内2クラブの会長幹事の計8人が同市役所を訪れ、斉藤栄市長に目録を手渡した。

小林ガバナーは「被災者の皆さまの役に立ててほしいという、全国のロータリー会員の気持ちを届けさせていたたく、支援金が復興の一助になることを願っています」とあいさつした。



目録を渡す小林聡一郎ガバナー(左から2人目) 熱海市役所

熱海市に6100万円支援金
 国際ロータリー地区が贈呈

静岡、山梨両県のロータリークラブで構成する「国際ロータリー第2620地区」は20日、土石流災害の被災地を支援するため、熱海市に支援金6100万円を贈呈した。支援金は全国のロータリー地区と台湾から寄せられた。

地区ガバナーの小林聡一郎さん(77)、熱海南ロータリークラブ会長の吉田耕之助さん(74)ら8人が市役所を訪れ、斉藤栄市長に目録を手渡した。

小林さんは「全国のロータリークラブ会員は、被災された皆さんの生活の再建を考えてほしいという気持ちで浄財を出してくれた。その集積がこういう形になった」と語った。

斉藤市長は謝意を示し、「多額の浄財はご意思に沿った形で使わせていただきたい。国や県の費用でカバーできないところに使わせていただければと思う。被災者の安心につながると思う」と述べた。



斉藤市長(左)に目録を手渡す小林さん(20日、熱海市役所で)



RID2620 熱海豪雨災害支援報告 I

国際ロータリー 2021~2022 年度
 同期ガバナーの皆様

RID2620 熱海災害支援本部
 本部長 小林聡一郎



熱海市へ支援金 6100 万円を贈呈

全額被災者生活再建に活用

DG 小林メッセージ動画

国際ロータリー第2620地区は8月20日、静岡県熱海市の土石流災害への全国からの支援金6100万円の目録を同市にお届けいたしました。

7月3日の災害発生直後に「RID2620 熱海豪雨災害支援本部」を立ち上げ、ガバナー会を通して全地区へ災害支援金の要請を发出させていただいたところ、ガバナーの迅速な善意溢れるご対応をいただき、地区やクラブ、また関連組織から多額の浄財が寄せられました。さらには、ロータリー米山記念奨学会を通して、台湾米山学友会からも支援金が送られてきました。

そこで支援本部と熱海南RC、網代多賀RCの会長幹事8名が熱海市役所を訪れ、斉藤栄市長に目録を手渡しました。私からは「被災者支援に役立ててほしいという、全国ロータリー会員の気持ちを届けさせていただく。支援金が被災された方々の復興へのお手伝いの一助になることを願っている」と挨拶。斉藤市長は「被災者の生活支援が最優先と考えている。生活再建に使わせていただく」と話されました。支援金は全額が被災者の生活再建のために活用されます。

なお、引き続き支援金をご送金いただけるとのお申し出がございますので、9月中旬に2回目の贈呈を行う予定です。皆様のご支援ご協力に深く感謝を申し上げ報告とさせていただきます。

